

5760 WLCでのクライアントのIDLE状態のトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題：クライアントがIDLE状態のままになる](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、5760/3850/3650次世代ワイヤレスLANコントローラ(WLC)をネットワークで使用している場合に、クライアントがIDLE状態でスタックしたときに再接続できない場合のIDLEクライアントの問題を解決する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Wireless LAN Controller 5760 リリース 3.3.2 (Next Generation Wiring Closet [NGWC])
- Cisco 3702 シリーズ Lightweight アクセス ポイント
- Cisco Catalyst 3560 シリーズ スイッチ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題：クライアントがIDLE状態のままになる

クライアントがワイヤレスネットワークを介して接続できない。2,000を超えるクライアントが `show wireless client summary` コマンドでIDLE状態のままになります。この問題は10時間以内に2回発生し、ネットワークを復元する唯一の方法はWLCをリブートすることです。

解決方法

TACは、製品のすべてのコンポーネントからデータを収集し、クライアントがIDLE状態であることを示すスクリプトを提供します。

ログの分析後、これはAVC(Application Visibility and Control)機能のメモリリークが原因であることが判明しました。このバグは問題を追跡するために記載されており、最新リリースで修正されています。

Cisco Bug ID [CSCun96020](#)

簡単な回避策として、WLCでAVCを無効にすることもできます。